

蕨

広報WARABI

8

2020/令和2年

わらび・837

- 令和2年8月1日発行／発行所・蕨市役所
- 7月1日現在人口：75,860人 前月比 +20人
世帯数：39,993 人口密度：14,845人/km²
- 蕨市の面積 5.11km²

～今月の特集～



- 戦火から守り抜いた
天才絵師の作品……2
- 新型コロナ緊急対策第3弾……6

～今月の表紙～ 夏の水遊び

みどり保育園の水遊びのひとつ。真夏日となった先月20日、園児たちは冷たい水のトンネルを楽しく走っていました。



戦火から 守り抜いた 天才絵師の作品

河鍋暁斎記念美術館

河鍋楠美館長が語る戦争の記憶



終戦から75回目の夏を迎え、実際に戦争を知らない世代が大半を占めています。尊い命はもちろんのこと、財産や文化まであらゆるものを奪っていく戦争の記憶を風化させないため、今回は命がけで天才絵師の作品を守り抜いた河鍋暁斎記念美術館・河鍋楠美館長の戦争体験を紹介します。

現代に残る河鍋暁斎の作品

尊い命だけでなく、貴重な文化芸術までも奪ってしまいう戦争。幕末から明治にかけ、あらゆるジャンルを描く人気画家として活躍した河鍋暁斎の作品もその危機に瀕していました。今日、私たちがこの天才絵師の世界を堪能できる背後には、戦火から命がけで守り抜き、保存・研究に尽力された暁斎の曾孫、河鍋暁斎記念美術館・河鍋楠美館長の懸命な姿があったのです。

強制疎開をきっかけに蔵へ

昭和6年に東京の日暮里で生まれた楠美さん。自宅には



かわなべ くすみ
河鍋 楠美 さん
公益財団法人
河鍋暁斎記念美術館 館長

89歳。医学博士。昭和52年、河鍋暁斎記念館(現同記念美術館)開館。暁斎の研究・展示を通じ、美術館の発展に尽力。



かわなべ きょうさい
河鍋 暁斎
天保2年(1831)
～明治22年(1889)

現在の茨城県古河市に生まれる。浮世絵や狩野派を学び、江戸・東京の庶民から人気を博す。娘の暁翠も日本画家。



当時の世相を表す写真(蔵第一国民学校での軍事訓練)

暁斎の大量の下絵が残されていた上、暁斎の娘で、日本画家の祖母・暁翠の画室に入り浸るなど、幼少の頃から絵に對して造詣を深めていました。

昭和10年には赤羽に引っ越していたものの、戦争の激化により、昭和19年に赤羽駅周辺が強制疎開となり、

当時、空襲はないといわれていた蔵へ。疎開の際に最も大きな荷物となったのが暁斎の約3000点の作品を収蔵した12個の桐の下絵箱(3斗写真)。運ぶには馬引きが5台必要で、疎開先の和楽備神社

そばにあった長屋の床は、足の踏み場もないほどでした。

暮らしの中心となった戦争

蕨の自宅から通っていた赤羽の女学校では、授業は1年生の1学期しか行われず、その代わりに学校近くの軍需工場で防毒マスク作りや長刀の練習、手りゅう弾で自決する訓練などに明け暮れていました。工場は頻繁に空襲に遭い、同級生を何人も亡くし、楠美

さん自身もパイロットの顔が見えるほどに低空飛行してきた戦闘機の機銃掃射に襲われ、命からがら逃げ帰る恐怖を味わっていました。

そして昭和20年4月。14歳のときに、とうとう蕨も空襲に見舞われたのです。13日の夜からの爆弾と焼夷弾の波状攻撃では、三和町(南町2・3丁目付近)から蕨第一国民学校(現在の北小学校)までの約1キロ、幅200〜300

0メートルが火の海となりました。

そのようななか、河鍋家では家族5人が空襲警報が鳴るとともに家財道具を差し置いて、下絵箱を持って和楽備神社の境内に運び込みました。事前に約束をしていたわけではなく、「なにを置いてもいいばんに避難させる物」という思いを河鍋家の者として自然と全員が共有していたのです。その後、父・重人さんが家の屋根に水をかけに戻ると、火

の手は目の前まで迫ってきました。「これまでか」と観念しかけたそのとき、祈りが通じたのか急に風向きが変わり、どうにか最悪の事態を免れることができたのでした。

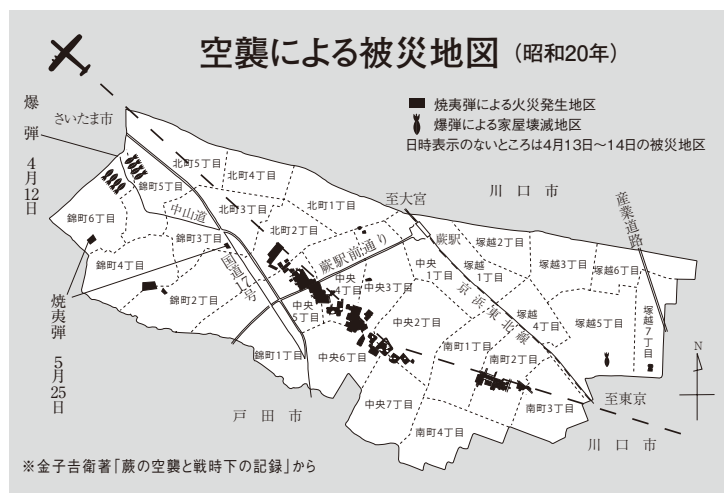
暁斎の魅力を未来へつなぐ

戦後、楠美さんの将来を決めるきっかけとなったのは、空襲のさなか命がけで守り抜いた暁斎の作品でした。17歳になり女子美術大学への進学

を悩んでいた頃、暁斎が同じ年齢のときに描いた「毘沙門天之図(上写真)」を見て、とても画家として超えることはできないと断念し、医学の道へ進むことになったのです。それと同時に、戦前は世界的な画家として名をとどろか



▲▶昭和20年4月13日の空襲の際に一家総出で和楽備神社に運び込んだ桐の下絵箱(左上)と中に收藏されていた作品の一部(左下:「鳥獣戯画 猫又と狸」、右:「毘沙門天之図」)



を悩んでいた頃、暁斎が同じ年齢のときに描いた「毘沙門天之図(上写真)」を見て、とても画家として超えることはできないと断念し、医学の道へ進むことになったのです。それと同時に、戦前は世界的な画家として名をとどろか

河鍋暁斎記念美術館
絵画や版画などの完成品に加え、河鍋家に伝わる下絵など、約3,200点の作品を所蔵。1、2か月ごとにテーマを変えた展覧会を開催しています。
※今月の展覧会の内容は12ページをご参照ください。
ところ=南町4-36-4

せていたものの、戦後になると多才であるがゆえに浮世絵師とも狩野派絵師ともいえない存在だったことで、徐々に忘れられていた暁斎を多くの人に知ってほしいとの思いが募りました。医師としての道に精進するとともに、昭和52年には自宅を改装して美術館を開館。海外に流出した暁斎の作品を収集するほか、研究誌の発行や講演により再び注目を集めるようになりました。

市内で行われる 平和を願う催し

4ページでは、公民館などで行われる平和事業について紹介します。パネル展示などを通して、戦争の悲惨さや平和の尊さについてあらためて考えてみませんか。

公民館等の催し

● 中央公民館 (☎432・2530)

● 広島・長崎 原爆パネル展
4日～21日

● 東公民館 (☎442・4052)

● 平和を願うパネル展 / 7日
まで

● 西公民館 (☎442・4054)

● 「アフガンで井戸も掘る医者・中村哲医師とペシヤワール会の医療活動・緑の大地計画」展示会 (※) / 5日～12日

● 南公民館 (☎442・4055)

● パネル展「1988年平和展プレイバック」埼玉の空爆 (※) / 31日まで

● 北町公民館 (☎432・2225)

● パネル展「戦中・戦後のわらび」 / 13日まで

● 下蔵公民館 (☎441・1560)

● パネル展「沖縄戦 詩と絵」 / 31日まで

● 旭町公民館 (☎432・4053)

● パネル展「蕨と戦争」 / 21日
～31日 (31日は午後4時まで)

● 図書館 (☎444・4110)

● 展示「現代の戦争と紛争」
(※) / 31日まで

平和祈念の黙祷

広島市で6日、長崎市で9日に原爆死没者の追悼と平和への祈りを込めた式典が開かれ、15日の終戦記念日には、政府主催の全国戦没者追悼式が

開かれます。蕨市も平和宣言都市として、これらに合わせ、

6日(木)は午前8時15分から、9日(日)は午前11時2分から、15日(土)は正午から敬虔な黙祷がささげられるよう、防災行政無線で呼びかけます。1

分間の黙祷をささげましょう。詳細は庶務課(☎433・7705)

歴史民俗資料館

常設展「戦中・戦後のくらし」では当時の資料や蕨の空襲被害などを紹介しています。詳細は同館(☎432・2477)

平和都市宣言

昭和20年8月、広島、長崎に人類初の原子爆弾が投下され、早くも40年の歳月が流れました。

その間、唯一の被爆国である我が国は、恒久平和を崇高な理念として憲法に掲げ、自由と正義を愛し、世界平和に寄与してきました。

しかるに今、世界の超大国を中心とした核保有国が競って核軍備拡充を図っていることは、まことに脅威であり、この核軍拡競争に対して、世界のいたるところで、平和希求の叫びがとみに高まりつつあります。

このような国際情勢の中で、戦争は人間が起こすものであり、また人間の力によってこれを防ぐことができることをしっかりと心に刻み、平和で豊かな社会を次の世代に引き継いでいくことが、現代に生きる我々の責務であると考えます。

私たち蕨市民は、平和憲法の精神を守る立場から、非核三原則が厳守されることを強く希望し、世界のあらゆる国の核兵器の速やかな廃絶を願うものであります。

蕨市は、市民の平和を願う心を結集し、ここに「平和都市」であることを宣言いたします。

昭和60年9月9日 蕨市

市庁舎移転スケジュール

移転先施設	業務開始予定日	配置部署
仮庁舎(市民会館) (中央4-21-29)	9月23日(水)	税務課、納税推進室、市民課、市民活動推進室、医療保険課、福祉総務課、生活支援課、児童福祉課、介護保険室、出納室
仮設庁舎 (北町2-8-8)	10月19日(月)	秘書広報課、庶務課、人事課、政策企画室、財政課、庁舎建設室、情報管理室、安全安心推進課、商工生活室、教育総務課、学校教育課、生涯学習スポーツ課
	10月26日(月)	まちづくり推進室、建築課、道路公園課、区画整理課、議会事務局、議会関連諸室

※各部署はそれぞれの移転日前までは現庁舎で業務を行っています。なお、下水道課は水道部(中央2-10-6)、選挙管理委員会・監査委員事務局は生活環境係事務所(北町5-13-23)へ移転し、10月5日(月)から業務開始予定。



※移転後も郵送物送付先住所・電話番号は変わりません。



その他、市庁舎建替えに関する情報は市ホームページを御覧ください。
問い合わせ＝庁舎建設室
(☎420・8866)

仮庁舎(市民会館)の窓口業務

仮庁舎内の主な窓口業務は下記のとおりとなっています。

税務課＝各種税証明の発行
納税推進室＝市税の収納や納税相談
市民課＝証明類の発行、住所変更や戸籍届
市民活動推進室＝庁舎案内や市民相談
医療保険課＝国民健康保険の手続き
福祉総務課＝障害のあるかたへの支援
生活支援課＝生活保護の相談・申請
児童福祉課＝児童手当・保育園の手続き等
介護保険室＝要介護認定の申請等
出納室＝公金の収入・支出

市庁舎の建替えに向けて、左記のスケジュールで、庁舎第2駐車場に建設中の仮設庁舎と市民会館の一部に整備する仮庁舎などに市庁舎機能を移転します。

市政トピックス

市政に関する情報を

☒お届けします!

わらびりんごサイダー発売

02

今年も市内で取れたわらびりんごを使ったサイダーを販売します。ぜひ、ご賞味ください。

販売情報

価格 200円(200ml)

とき 今月上旬(予定)

ところ 市民体育館(北町1-27-15)、
スマイラ松原(錦町3-3-27)

問い合わせ 商工生活室(☎433・7750)



※写真はイメージです

わらびりんご商品化プロジェクト第2弾
わらびりんごシャーベット
▶▶ Coming Soon...



市民の健康と暮らし、市内事業者の営業を守る

新型コロナウイルス緊急対策 第3弾

6弾から9弾までは、新型コロナウイルス感染症に関する市の取り組みを紹介し、まずは感染防止と社会経済活動の両立を進める取り組みを支援する緊急対策第3弾についてです。

1 経済対策 = 2億4,785万円

- ◆蕨市小規模企業者応援金第2弾……………1億5,035万円
→詳しくは7頁（左頁）をご参照ください
- ◆小規模企業者新型コロナ対策支援事業……………3,750万円
→新型コロナ対策を実施し、事業継続を目指す小規模企業者に対し、その経費について25万円を上限に補助。国の小規模事業者持続化補助金（9頁関連情報）の事業主負担分への補助。不採択の場合も独自補助あり
- ◆地域活性化・消費者応援事業……………6,000万円
→詳しくは7頁（左頁）をご参照ください

県内初

2 生活支援対策 = 2億8,762万円

- ◆水道基本料金の無料化2か月延長（計4か月分）……………8,000万円
→市内の全ての家庭、事業所の水道料金について、基本料金を無料化する措置を2か月延長（9頁関連情報）。第2弾の実施分に引き続き、計4か月分を無料化
- ◆住居確保給付金の利用者増への対応……………1億4,947万円
→新型コロナの影響により利用者が急増した住居確保給付金を増額（9頁関連情報）
- ◆ひとり親世帯臨時特別給付金……………5,815万円
→児童扶養手当受給中のひとり親世帯等に1世帯5万円、第2子以降1人につき3万円を支給。収入が大きく減少した世帯には1世帯5万円を追加給付（9頁関連情報）

3 教育文化支援対策 = 1億708万円

- ◆児童生徒1人1台のパソコン100%整備……………8,864万円
→今後の小・中学校のオンライン学習などに対応するため、GIGAスクール構想に基づき、1人1台のパソコン整備を更に前倒しし、今年度中に完了
- ◆アーティスト動画配信プロジェクト!! in Warabi……………780万円
→詳しくは7頁（左頁）をご参照ください
- ◆学習指導員、スクール・サポート・スタッフの配置……………1,064万円
→児童生徒の学習支援を行う学習指導員、教員の雑務補助や校舎消毒などを行うスクール・サポート・スタッフを各小・中学校にそれぞれ1人配置

4 感染予防対策 = 2,217万円

- ◆災害対策用資機材等の整備……………2,126万円
→感染症発生時に対応した避難所開設等に必要の資機材（避難所用テント）及び衛生用品（マスク、消毒液、口腔ケア用品、ウェットティッシュ等）を備蓄
- ◆市立病院の医療体制の強化……………91万円
→感染した患者と感染の疑いのある患者に対応した、ベッドを囲う組み立て式の簡易陰圧ブースの整備



◀7月8日に開催した記者会見で新型コロナウイルス緊急対策第3弾を発表した頼高英雄蕨市長

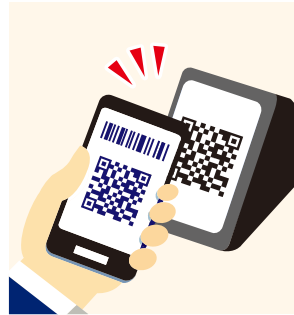


◀新型コロナウイルス緊急対策第3弾を発表した記者会見の様子はこちらから御覧になれます

スマホ決済でお得なポイント

Point

- ◇ 実施期間は10月(予定)から1か月間
- ◇ ポイント還元で消費拡大と消費者応援
- ◇ キャッシュレスで感染防止効果も



スマホ決済の利用でお得なボーナスポイントを獲得!

地

地域の消費拡大や消費者応援、キャッシュレスの推進などを目的に、民間の決済業者と連携し、市内の飲食店や小売店といった対象店舗でスマホ決済を利用すると、お得なボーナスポイントが付くキャンペーンを10月から1か月間行います。

対象は対象店舗で指定の決済業者のスマホ決済を利用した人(市民以外も可)

※ポイントは後日付与。詳細は決定しだい、市ホームページなどでお知らせします。

問い合わせ
 商工生活室
 (☎ 433・7750)



蕨のアーティスト動画を配信

Point

- ◇ プロ・アマ問わずに希望者募集
- ◇ 文化芸術の力で皆さんにエール



活

動の場が制限されている、市内の文化芸術の担い手を支援するとともに、市民の皆さんに文化芸術に触れる機会を提供したいとの考えから、動画配信の取り組みを進めていきます。

プロアーティストの力で皆さんを元気に
 対象は個人・団体(10人以下)で①②両方に該当する人

①市内在住で文化芸術活動の収入で生計を維持している人
 ②直近5年以内に不特定多数の観客から対価を得て、公演などを行った人
 募集は60人(抽選)
 謝礼は5万円(1人当たり)

アマチュアアーティストの成果発表の場を支援

対象は市内在住で在学中で文化芸術活動を行っている人か団体
 謝礼なし

【プロ・アマチュア共通事項】
 ジャンルは音楽・ダンスなど
 条件は会場は市内限定。自らまたは市が動画を撮影し、市ホームページで公開することなど(公共施設で撮影希望の場合は指定の日時・条件などあり。その費用は市が負担)

申し込みは31日まで
 に、生涯学習スポーツ課
 (☎ 433・7729)



小規模企業者へ追加で10万円給付

経済対策／蕨市小規模企業者応援金第2弾

Point

- ◇ 緊急対策第1弾の追加支援
- ◇ 申請期間は9月1日～11月30日

敵

厳しい状況におかれている小規模企業者の皆さんを引き続き支援するため、「蕨市小規模企業者応援金」

の第2弾として、更に10万円の応援金を給付します。

条件は9月1日時点で、蕨市内において事業を行っている小規模企業者(個人事業者含む)で、今後も事業の継続を目指すし、今年2月以降の収入のうち、最も低い月額が前年の月平均収入(法人は前年度)

よりも減少していること
 申請は9月1日～11月30日まで、申請書に必要書類(第1弾の給付を受けた事業者は一部省略可)

を送付し、郵
 室(☎ 433・7750)



新型コロナウイルス関連情報

ここでは、新型コロナウイルス感染症に関連した情報を紹介
します。なお、最新情報は市ホームページをご確認ください。



▲市ホームページはこちらから御覧になれます

向けの主な支援策・相談機関など

個人向けの主な支援策（各種条件あり）

●特別定額給付金（1人10万円の給付）



対象 = 令和2年4月27日時点で住民基本台帳に記録されている人
給付 = 申請からおおむね2週間
詳細 = 蕨市特別定額給付金担当 (☎0570・093・111)

～申請はお早めに～
※書類の不備などがあった場合、申請期限内の受付が間に合わない可能性もあります。早めの申請をお願いします（6月末時点で未申請の世帯には7月上旬に勧奨通知をお送りしています）。※市では、申請書を全世帯にお送りしています。申請書が届いていない世帯は、宛先不明の可能性があるので、給付金担当へ至急ご連絡ください。

●各種保険料（税）・市税などの減免・徴収猶予

種別	内容・対象	問い合わせ
【減免】 ・国民健康保険税 ・後期高齢者医療保険料 ・介護保険料	内容 = 生計維持者が死亡か重篤な傷病を負った世帯の人または生計維持者の収入の減少が見込まれる人の保険料（税）を減免します 対象 = 来年3月31日までの納期限のもの	申請・詳細 = 国民健康保険税 (☎433・7712) 後期高齢者医療保険料 (☎433・7503) 介護保険料 (☎433・7835)
【徴収猶予】 ・固定資産税 ・市県民税 ・国民健康保険税	内容 = 今年2月以降の収入が前年同期と比べて約2割以上減少していて、一時に納付することが困難である場合、延滞金なしで1年間の徴収を猶予します（税額は減少しません） 対象 = 来年1月31日までの納期限のもの	申請・詳細 = いずれも納税推進室 (☎433・7709、☎433・7744) ※納期限内に申請が必要です。

7月21日時点の情報

相談機関のご案内

- 県民サポートセンター** = 24時間、土曜日・日曜日・祝日も対応 ☎0570・783・770
- 蕨市医師会新型コロナウイルス相談センター** = 月曜日～土曜日の午前9時～午後5時 ☎080・2365・8713
※お問い合わせに看護師または保健師（必要に応じて医師）が応じます。

一人ひとりが予防対策の徹底を

現在、県内で感染拡大が警戒されています。「身体的距離の確保」、「マスクの着用」、「手洗い」といった感染防止の3つの基本の実践をはじめ、3つの密（密閉・密集・密接）を避けるなど、「新しい生活様式」を日常に取り入れ、一人ひとりが予防対策の徹底を図りましょう。

- 無料で差し上げます**
- ▼**弁当箱（70セット）** 24ヶ月×16ヶ月と15ヶ月×10ヶ月の2種類 週4回の宅配弁当で3年間使用 電子レンジ対応 取りに来てくれる人
▲平岡・☎080・5418・6129
- ▼**スネアドラム（マーチングバンド用）** 中古 取りに来てくれる人
▲野村・☎45・1802
- 仲間になりませんか**
- ▼**北町ドッジボール** 日曜日 午前9時 北小学校体育館 北小学校児童 大矢・☎050・7129・6930
- ▼**北町囲碁クラブ** 土曜日 午後1時 北町公民館 年1200円 小林・☎431・3180
- ▼**南囲碁クラブ** 火曜日 午前9時半 南公民館 無料 詳しくはホームページでご確認ください
▲山本・☎432・4543
- ▼**和楽備ストレッツ・脳トレニング&ラジオ体操 絆の会** 月・水・金曜日 午前6時15分 城址公園（市民会館裏） 平田・☎080・4179・6907

情報ダイヤル

掲載は無料。申し込みは秘書広報課 (☎433・7703) へ



事業所向けの主な支援策（各種条件あり）

●小規模事業者持続化補助金（国の制度）

感染症の影響を乗り越えるため、小規模事業者等が商工会議所の助言等を受けて作成した経営計画に取り組む費用を補助します。

詳細＝蕨商工会議所（☎432・2655）

◇上記制度の事業主負担分への補助（市の制度）

対象＝市内の事業所で、小規模事業者持続化補助金の申請を行い、今年度中に採択結果が出たもの
採択の場合＝事業主負担分（上限25万円）を補助。

不採択の場合＝新型コロナ対策事業に係る経費のうち、3分の2（上限25万円）を補助。

※9月以降に申請受付を開始します。詳細が決まりしだい、ご案内します。

詳細＝商工生活室（☎433・7750）

●持続化給付金（国の制度）

感染症拡大で大きな影響を受けている法人へ最大200万円、個人事業者へ最大100万円を給付します。
※電子申請。

詳細＝持続化給付金事業コールセンター（☎0120・115・570／☎0570・015・078）

●家賃支援給付金（国の制度）

緊急事態宣言などにより、売上の減少に直面する事業者の事業継続を支援するため、家賃等の負担を軽減する給付金を支給します。

詳細＝家賃支援給付金コールセンター（☎0120・653・930）

※同給付金に上乗せで支給する埼玉県の制度があります。詳しくは県中小企業等支援相談窓口（☎0570・000・678／☎048・830・3754）へ。

●セーフティネット保証制度

経営安定に支障が生じている中小企業者への資金供給の円滑化を図るための制度。希望者は商工生活室（☎433・7750）へご確認ください。

※午前中の申請は即日（午後3時以降）発行。

個人向けの主な支援策（各種条件あり）

●ひとり親世帯臨時特別給付金

子育てと仕事を一人で担う児童扶養手当の受給者などに給付金を支給します。

基本給付＝1世帯5万円 第2子以降は1人につき3万円 追加給付＝1世帯5万円

※追加給付の対象は新型コロナウイルス感染症の影響を受けて家計が急変し、収入が減少している人
詳細＝児童福祉課（☎433・7757）



●水道基本料金の無料化（計4か月分）

6月・8月検針分＝中央・南町地域

7月・9月検針分＝錦町・北町・塚越地域

※2か月延長しました。全家庭と事業所が対象。手続き不要。基本料金を引いた金額で請求します。

詳細＝水道部業務課（☎432・5329）

●傷病手当金

蕨市国保か後期高齢者医療保険の加入者で、新型コロナウイルス感染症に感染または疑いで給与の支払いを受けられない人に手当を支給します。

詳細＝医療保険課（☎433・7736）

●一時的な資金の特例貸付

緊急小口資金＝休業などにより、生計の維持が困難な世帯に、最大20万円の貸付を行います。

総合支援資金＝失業などにより、日常生活の維持が困難な世帯に、最大月20万円の貸付を行います。期間は原則3か月以内（最長12か月以内）。

詳細＝蕨市社会福祉協議会（☎443・6051）

●住居確保給付金

離職または休業などで収入が減少し、住居を失ったか、その可能性がある人へ家賃相当分の給付金を支給します。

詳細＝蕨市生活自立相談支援センター（☎445・1377）

▼竹紫館（剣道） 月・水・金曜日 午後6時半 同館 小学生 月2000円／照井・☎090・8478・8294

▼ねこのみみ（市民交流・井戸端会議） 月1回 正午 市内500円／北田・☎432・8501

▼楊名時（太極拳） 土曜日 午後2時半 蕨駅東口駅前ラ・セニスビル 月4500円／浦島・☎224・5915

▼蕨北町サッカー 土・日曜日・祝日 北小学校 年中～小学生 月1500～2000円（未就学児は年2000円） 活動時間要確認／小泉・☎090・4948・5936

▼ビッグモンスターズ（ソフトボール） 土・日曜日・祝日 午後1時（時期により変動する場合があります） 中央小学校 小学生1世帯当たり年2000円（入金なし） どなたでも大歓迎です。ユニフォームの貸し出しあります／菅谷・☎080・3027・0676

●ご相談ください

▼蕨断酒会（酒害相談） 4日（火）＝中央公民館 14日（金）＝南公民館 20日（木）＝旭町公民館 午後7時 語り合いの場

▲高橋・☎090・2302・8510

※新型コロナウイルス感染症の影響で、掲載している内容に変更が発生する場合があります。詳しくは、各連絡先にお問い合わせください。

地域で育てたリンゴ収穫

日本一早く実がなることで知られるわらびりんご。6月26日、わらびりんご公園（錦町6丁目）では、日頃から清掃などに携わっている「クリーンアップ・わらびりんご公園」の皆さんが16本の木から400個のリンゴを収穫しました。生長をずっと見守ってきただけに皆さんの喜びもひとしおでした。



まちの話題

ここでは6月下旬から7月下旬までの話題を紹介します
ビデオマークがついている話題はCATVで放映します

J R 蕨駅に感謝状を贈呈

2月19日、J R 蕨駅で男性が心肺停止状態になる事案が発生。駅職員と乗客が心肺蘇生法やAEDを実施したことで、現在は社会復帰されています。この功勞に対し、6月29日、消防本部は蕨駅に感謝状を贈呈しました。なお、同本部（☎441・0117）では本救助に協力されたかたを捜しています。



熱戦ハートフルサッカー

7月9日と20日、東小学校6年生58人が浦和レッズハートフルクリニックに参加しました。元日本代表の落合弘おちあいひろしさんら5人の指導の下、応援をがんばったチームにも点が入るミニゲームに、子どもたちは笑顔で大盛り上がり。スポーツの楽しさだけでなく、仲間のたいせつさも学びました。



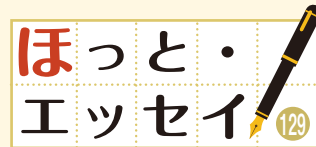
「ハローわらび」8月の番組表

市からのお知らせ・地域の話などを送ります

放送時間は、毎日午前9時・正午・午後3時・6時・9時からそれぞれ45分間です。

	7/31(金)~8/6(木)	7(金)~13(木)	14(金)~20(木)	21(金)~27(木)	28(金)~9/3(木)
00	市政ガイド 新型コロナウイルスに係る蕨市の対応について	市政ガイド 新型コロナウイルスに係る蕨市の対応について	市政ガイド 新型コロナウイルスに係る蕨市の対応について	市政ガイド 新型コロナウイルスに係る蕨市の対応について	市政ガイド 新型コロナウイルスに係る蕨市の対応について
05	タウンタウン 食事と遊びの教室	タウンタウン フレーム切手 「京浜東北線とわらびまつり」贈呈式	タウンタウン わくわく虫探し 中央小の公園探検	タウンタウン いきいき百歳体操	タウンタウン みんなで 大きな壁画をつくろう
10	蕨市政なう！ 日本一のコンパクトシティ蕨へ	何を作ろうかな 北小陶芸教室	プレーパーク 夏休みバージョン	夏休み子ども特集 灯りに願いを ポタニカルキャンドル作り	蕨市政なう！ 市民の健康と暮らし、市内事業者の営業を守る コロナ対策
15	着実に前進 市長マニフェスト	公共施設の仕事を知ろう 中央東小でリモート授業	和楽備茶漬けが 給食に登場	児童センターの 夏休み教室	
20	採れたてスポット 地域の話題が盛りだくさん	平和特集 戦後75年 戦時下の蕨	特集・ウィークリープラス 就労継続支援B型事業所「つむぎ」	市政ガイド 特定健康診査を受診しましょう	採れたてスポット 地域の話題が盛りだくさん
30	知って得する暮らしの情報	知って得する暮らしの情報	知って得する暮らしの情報	知って得する暮らしの情報	知って得する暮らしの情報

都合により放映内容が変更となる場合があります ご理解ご協力をお願いします 詳細=秘書広報課 (☎433・7703)



総額約6億6,500万円
新型コロナウイルス緊急対策第3弾

市長 頼高 英雄

緊急事態宣言解除後、2か月余が経過しましたが、依然として市民生活や市内事業所は大変厳しい状況にあることから、この度、蕨市新型コロナウイルス緊急対策第3弾を実施します。経済対策では、蕨市小規模企業者応援金の第2弾として、売上の減少した事業所に更に10万円を給付することや新型コロナウイルス対策に取り組む事業所に対する最大25万円の支援、スマホ決済を活用したポイン

ト還元を行う地域活性化・消費者応援事業を行います。生活支援対策では、水道基本料金無料化の2か月延長などを行うとともに、教育文化支援対策では、児童生徒1人1台のパソコン整備を年度内に完了することや文化芸術活動への支援としてアーティスト動画配信プロジェクトなどを実施します。更に、感染予防対策では、避難所用のテントや衛生用品の整備などを行います。現在、再び東京圏を中心に感染拡大への懸念が高まっています。皆さんの健康と暮らし、市内事業所の営業を守るとともに、感染防止と社会経済活動の両立を図る取り組みへの支援に全力を尽くしてまいります。

市民と市長の面会日

面会日は毎月第1木曜日。今月は6日です。9月は3日です。時間は午後1時～5時を予定しています。ご希望のかたは秘書広報課（☎433・7701）へご連絡を。



粘土で自由なものづくり

7月21日に北小学校で、特別授業として開催された陶芸教室。6年生90人は、陶芸家の白鳥ちあき先生の指導を受けて、埴輪や小物入れなど5つの題材から好きな物を選び、粘土と戯れながら、丁寧に形を整えました。2学期には、色の付いた作品が焼き上がります。完成が待ち遠しいですね。

新副議長に 大石氏を選出



大石 圭子 副議長

7月22日、蕨市議会は、臨時会で副議長に大石圭子氏を選出しました。大石氏は、平成27年に初当選、2期目、令政クラブ、教育まちづくり常任委員会委員長、決算常任委員会委員長などを歴任、塚越7丁目在住、63歳。

わが家のアイドル



かいと 海翔ちゃん (0歳11か月)
せき 関 文也さん
みゆき 美幸さんの二男
北町1丁目

「一人で立てるようになり、世界がどんどん広がる海翔。ボールを無邪気に放り投げ、テレビCMに合わせて陽気に踊ります。背中を反らして御機嫌斜めに見えても最後はにっこり。喜怒哀楽を体いっぱい表す姿がいと嬉しいです。たくさん家族や友達に囲まれておおらかに成長し、困った人を自然に助けられる優しい心を育んでほしいですね」と、母親の美幸さん。



完成した平和の紙芝居とともに笑顔の中尾さん

輝いています

「シニア読み聞かせじゃんけんぽん」代表

ひと

なか お 中尾 るり子 さん

世代を越えて平和を伝えたい

言

葉と絵でストーリーを紡ぐ絵本の世界。仲間と読み聞かせを行って、その魅力を伝え続けているのは、中尾るり子さん(66歳・中央2丁目)です。既存の物語を読むだけでなく、平和の紙芝居を作るなど活動を広げています。

昔から活字や本が好きだった中尾さんは、6年前に読み聞かせ講師・植田たい子さんの活動を知って一念発起。第1期読み聞かせボランティア養成講座に参加し、発声練習から絵本の選び方・持ち方に至る、読み聞かせの奥深さに驚きながらも、その楽しさに引き込まれていきます。

修了後は、実践の場を求めて有志とボランティア団体を

発足。児童館や保育園で活動を重ね、着実に腕を磨きます。目をきらきら輝かせる子どもたちとの時間は至福のとき。より良い本を届けたいと思いつつも、介護や病気などで一昨年までに仲間は半減し、シニア活動の難しさを感じます。

そうしたなか、昨年1月に出会ったのが、第二中学校美術部が描いた12枚の絵でした。戦火を越えて成年式を開き、若者たちが希望を取り戻す絵に心を動かされ、「未来の子どもたちのために、平和の願いを届けたい。ストーリーを付けた紙芝居にしよう」と仲間の思いは一つに。歴史に忠実に表現するための資料集めなどに苦勞しながらも、今年3月に紙芝居は無事完成。その傍らには、中尾さんたちの活動に共感して加わった新たな仲間の姿もありました。

コロナ禍で今月の公民館平和事業でのお披露目はかないませんが、来月には読み聞かせを再開したいと語る中尾さん。広い世代にメッセージを伝えるため、今後は高齢者施設での活動も目指します。活動の危機を乗り越えて出した手はチョコキ(ピース)。中尾さんの次の手に注目です。

今月の河鍋暁斎記念美術館

天才絵師の作品 蕨にあり

—No.51—



暁斎筆「猪に乗る蛙」錦絵

蛙が両手を広げ、猪の背中にまたがって行進しています。コウモリが先導役を務め、バツヤやカマキリたちはお供といったところでしようか。暁斎が数え3歳で母に連れられ、上州館林の親戚を訪ねた際に、初めて写生をしたのが蛙でした。以来、数多くの蛙の絵を描き、谷中の瑞輪寺にある暁斎の墓石も蝦蟇の形をした自然石です。蛙に始まり蛙に終わると言われるほど蛙を愛した暁斎ならではの、蛙を主役にした動物戯画です。



現在の茨城県古河市に生まれる。浮世絵や狩野派を学び、江戸・東京の庶民から人気を博す。明治9年、万国博覧会に肉筆画を出品。14年、内国勲業博覧会で日本画の最高賞受賞。娘の暁翠も日本画家。



かわなべ きょうさい 河鍋 暁斎 天保2年(1831) ~明治22年(1889)

河鍋暁斎記念美術館 開催中

「暁斎一門が描いた動物戯画」展 同時開催「故・山根光雄制作 復刻浮世絵版画」展

開館 = 午前10時～午後4時
休館 = 木曜日、毎月26日～末日、年末年始
ところ = 南町4-36-4
入館料 = 一般600円 高校生・大学生500円
小・中学生300円 65歳以上500円
※65歳以上の人は年齢の分かる物、学生は学生証をご提示ください
詳細 = 同館 ☎41・9780



展示会の詳しい内容は美術館のホームページをご参照ください

